

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築環境総合性能評価システム (2016年7月改訂) | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)コファン名古屋丸の内	階数	地上10F
建設地	名古屋市中区丸の内二丁目204番, 205番1, 235番, 236番, 237番	構造	S造
用途地域	商業地域, 防火地域	平均居住人員	114人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年4月 予定	評価の実施日	2023年12月5日
敷地面積	997 m ²	作成者	
建築面積	511 m ²	確認日	2023年12月5日
延床面積	4,379 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 75% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記②以外のオンサイト手法 75%

④上記③のオフサイト手法 75%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.1

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.3

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.5

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	設備システムの高効率化に努め、エネルギー消費量の削減に配慮した	その他 特になし
Q1 室内環境	開口部の遮音性能はT-2を採用し音環境に配慮した カーテンと庇により昼光制御し光視環境に配慮した	Q3 室外環境(敷地内) 地域性のある素材(タイル)を外壁に使用し、まちなみ・景観に配慮した
LR1 エネルギー	LED照明、高効率空調設備を採用し、設備システムの高効率化に配慮した	LR3 敷地外環境 適切な量の駐車場および駐輪場を確保し、交通負荷低減に配慮した 広告照明を設置しないことにより光害の抑制に配慮した
Q2 サービス性能	防汚性の高い内装仕上げを採用し、維持管理方法が大きく異なる床材を隣接させないことで維持管理性能に配慮した	
LR2 資源・マテリアル	節水型便器を採用し、水資源保護に配慮した リサイクル材を採用し、資源の使用量削減に配慮した	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)ココファン名古屋丸の内

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				4.2
LR1	エネルギー	4.4	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.9	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生				2.5
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性のある材料の使用※1	有	0.009
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会				3.6
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.7	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 4.2



2. 自然共生

評価点 = 2.5



3. 循環型社会

評価点 = 3.6



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。